

県内経済の動き

概況

〔2020年6月～2020年8月の動き〕

引き続き新型コロナウイルスの影響がみられる

鉱工業生産指数（6月）は9カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（7月 細島港）は5カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（7月 全店ベース）は5カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（8月）は11カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（7月）は3カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（8月 保証対象請負総額）は6カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（7月）は前月比横ばいの1.10倍で、8月の企業倒産は前月比横ばいの2件、負債額は同75百万円減の42百万円となった。

県内では8月末に新型コロナウイルスの感染拡大緊急警報が特別警報へ移行されたものの、本県経済の先行きには依然として不透明感が漂っている。